

科目名	和声法 I D	形態	演習	開講期	春学期
担当教員	高橋 裕	単位	1	年次	1

### ＝授業科目の目標＝

古典的音楽を理解する上で必要となる基礎的な和声の習得を目標とする。  
 作曲法 I においては、3 和音の基本位置、および第 1、第 2 転回位置における配置、連結を学習する。  
 特に、バスとソプラノの良好な組み合わせを理解することを主眼とする。

### ＝履修の条件と学習の方法＝

家ででの自主的勉強が必要となるのでその為の課題を与える。  
 2/3 以上の出席がない場合、いかなる理由があろうとも、試験の受験資格はなくなります。  
 遅刻、早退、中途退席 3 回で欠席 1 回と見なします。また、授業時間の半分の時間（45 分）を超過しての遅刻、早退、途中退席は欠席扱いとします。

### ＝授業内容＝

- 1 回 予備知識 和音の機能について
- 2 回 基本位置 3 和音の配置
- 3 回 基本位置 3 和音の連結 共通音のある場合
- 4 回 基本位置 3 和音の連結 共通音のない場合
- 5 回 基本位置 3 和音の連結 V → VI II → V
- 6 回 和音設定の原理 和声の強進行と弱進行について
- 7 回 各種の調
- 8 回 3 和音の第 1 転回位置 配置
- 9 回 3 和音の第 1 転回位置 連結
- 10 回 3 和音の第 1 転回位置 和音の選択
- 11 回 3 和音の第 2 転回位置 配置とバス定型
- 12 回 3 和音の第 2 転回位置 バスとソプラノの多用形一覧
- 13 回 3 和音の第 2 転回位置 総合課題（1）
- 14 回 3 和音の第 2 転回位置 総合課題（2）
- 15 回 まとめ

### ＝成績評価の方法と評価の基準＝

定期試験を主に、日頃授業時の添削、出席状況を加味し評価する。

### ＝テキスト（必携）＝

著者名：島岡譲  
 書籍名：和声 I  
 出版社：音楽之友社